

SSKS

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～

2025. 8月号

No. 577



法人・家族懇談会を開催しました



7月11日（金）、武蔵野スイングスカイルームにて、法人家族懇談会を開催いたしました。法人全体と各事業の前年度と今年度のとりくみをお伝えする場として、毎年開催しており、今年で3回目となりました。

昨年度の懇談会同様、各事業の報告では動画を用いたこともあり、とりくみの具体的なイメージをご家族のみなさまと共有できたのではないのでしょうか。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



法人の今とこれからをお伝えします

ご家族の安心・理解・協力に繋げるために



【法人紹介動画を作成しました】

とから、完成したばかりの法人紹介動画を紹介するとともに、来年1月の記念式典についてもお伝えしました。

令和6年度の成果と課題 令和7年度の目標

【法人全体の報告】

はじめに、菅野理事長より、組織再編から3年目を迎えた成果と課題、法人としての方向性について説明しました。

次に、唐澤常務理事より、障害者福祉情勢の説明や、令和6年度法人全体のとりくみの報告として、①「就労支援部」で「営業部」をつくり大口案件共同受注が可能になったこと、②新規就労継続支援B型事業所「Bee ワークス」の開設、③利用者、家族の困難な状況に対応するため「相談支援部」での対応について、さらに令和7年度の計画として、ひとり暮らし体験事業「つぼみの家」の準備等についてお伝えしました。

【各事業からの報告】

当法人は、今年度21の事業所を武蔵野市内で運営します。今回の法人家族懇談会では事業ごとに「昨年度の成果と課題」「今年度の重点的とりくみ」について報告しました。

① 就労継続支援B型事業

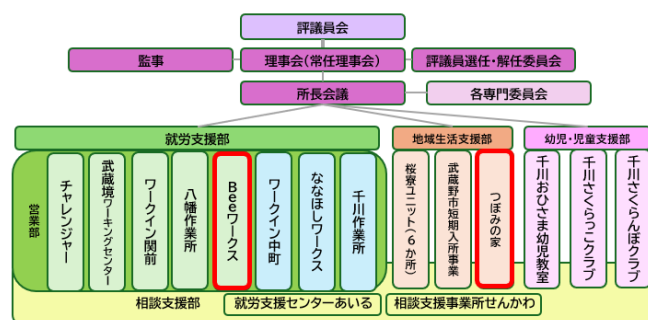
昨年度、就労継続支援B型事業では「就労支援事業の収支の適正化」を図るために、工賃改定を行なったことについてご説明しました。近年の生産活動収入の減少に加え、物価高騰による経費の増加により、昨年度、利用者の皆さんの工賃について大きく見直しを行ないました。今後も、

武蔵野千川福祉会では、事業所の利用者家族を対象に、法人全体と各事業の前年度と今年度のとりくみをお伝えする場として、毎年法人家族懇談会を開催しています。

今回は会場参加で39名の方にお越しいただき、会場参加が難しい方のために動画視聴でご確認いただけるようにしました。この会は、法人全体と各事業のとりくみの目的をお伝えし、ご家族と共有することで、安心して利用いただくことができる機会としています。

また、今年度は法人設立50周年を迎えるこ

社会福祉法人武蔵野千川福祉会 組織体制



毎年適正な工賃を支給するために見直しを行なっていくことをご説明しました。また、昨年度より、「学習」について試行的とりくみを行ってきました。今年度より「学びの時間」と称し、今まで「はたらく力」を伸ばすことを中心に行ってきた「生産活動」だけでなく、利用者が豊かで幅広い社会生活を送ることができる力を伸ばしていただけるように「学習活動」を行なっていきます。今年度この活動の定着をめざし、本格的にとりくんでいきます。

② 生活介護事業

生活介護事業では、昨年度に引き続き「活動づくり」と、それに合わせた「日課スケジュール（時間割）づくり」にとりくんでいます。昨年度の成果として「障害者運動定着支援事業」を通して、具体的な運動活動の内容について学びを深めたこと、新たな活動の「農作業体験」を通して、さまざまな経験はもちろんのこと、地域の人との交流の機会をつくることができたことが成果として挙げられます。今年度は活動の定着と充実をめざしていきます。

③ 児童・幼児支援事業

昨年度は学習会を通して、昨年7月に発出された「児童発達支援ガイドライン」「放課後等デイサービスガイドライン」に沿った日課、年間プログラムを整理しました。今年度はガイドラインに沿った活動プログラム・アセスメントなどを実践し、検証していきます。

④ 地域生活支援事業

昨年度、武蔵野市遺贈物件についてプロポーザルを経て選考いただき、借用することができました。その物件（「つぼみの家」）をひとり暮らし体験の場として活用し、障害のある人が地域の中で支援を受け、学びながら生活力（知識・技術）の向上をめざすことができるよう準備を進めてきました。今年度はいよいよ事業を開始予定です。それに伴い、法人利用者のご家族向けの見学・説明会を開催することをお伝えしました。

⑤ 相談支援事業

相談支援事業所せんかわでは、昨年相談支援専門員を各事業所担当制とし、利用者の変化に早い段階で気づき、適切な支援を継続するための計画作成に努めました。今年度は利用者支援についての相談→話し合い→支援までのしくみをつくっていきます。

就労支援センターあいるでは、昨年度新しいとりくみとして、法人内事業所（チャレンジャー、武蔵境ワーキングセンター）の利用者を対象とし、一般就労への興味関心の入り口を目的とした「出前講座」の施行を開始しました。今年度も継続して実施していきます。

変わること・変わらないこと

今年で3回目となる法人家族懇談会は、オンデマンド配信を含め多くのご家族にご協力いただき、法人の現況とこれからについて知っていただく機会となりました。法人設立50周年を迎える今、時代とともに法人を取り巻く情勢が変わってきており、それに合わせた対応が必要となっています。先に挙げた「学びの時間の導入」や昨年度創設した営業部、相談支援部も、このような変化やニーズに合わせた対応のひとつです。これからも法人の理念である“障害のある人ならびにご家族の安心・安定・安全をつくりだしていくための事業を推し進めていく”ことを基本とし、時代やニーズに合わせた対応をしていきます。

（文責：ワークイン関前 木村 美佑）

きょうされんサポーター（賛助会員）募集のお知らせ

武蔵野千川福祉会ともかかわりの深いきょうされんは、サポーター（賛助会員）を募集しています。きょうされんは、障害のある人たちを支える制度づくりのための国会請願署名を毎年行なっているほか、能登半島地震においては迅速な人員派遣をして被災地支援を行なってきました。これら活動は、皆さまのご支援によって実現できています。

武蔵野千川福祉会にかかわってくださる方々には、日頃より常設販売や夏季・冬季販売などを通じてご支援をいただいておりますが、あらためて賛助会員としてお力添えをお願いいたします。



KYOSAREN

希望がなくても「あたりまえ」に働きあふれる社会

きょうされんにあなたのチカラを

⇒サポーター（賛助会員）を募集しています⇐

日本の障害のある人は1184万人（※2023年推定）で、そのうち1人1人は行方不明の障害者があるといわれています。その数は増加傾向にあります。生き残りを求めているものの数は増えていきます。障害のない人と同じように働きたい。どこで働くかを自分で決めたい。そんなあたりまえの思いや願い、届かない現実があります。この国の障害者福祉制度はあまりにも貧弱です。障害があっても「あたりまえ」に働きあふれる社会を。ぜひ、きょうされんの活動も応援してください。

【とびくす】～インスタだより vol.26～ #武蔵野アール・ブリュット



7月11日（金）～14日（月）の4日間、吉祥寺美術館にて、武蔵野アール・ブリュット2025が開催されました。当法人の利用者も作品出展をしました。グループホームで描いた、好きな電車の絵が飾られてご満悦！来場者に自ら声をかけて、熱心に説明をしていました。ご来場くださった皆さま、ありがとうございました！！

今月の動向 ～令和7年7月～

3日(木) 学ぶ学習会、B型学習会
8日(火) 常任理事会
10日(木) 児童発達支援事業所交流会
11日(金) 法人家族懇談会
13日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
14日(月) 一般職層研修「コミュニケーション」
16日(水) 所長会議
17日(木) 経営研修「決算書の読み方」
18日(金) 人権・虐待防止研修
23日(水) 常任理事会
28日(月) 武蔵野市障害者就労支援ネットワーク
連絡会

来月の予定 ～令和7年8月～

8日(金) 常任理事会
12日(火)～15日(金) 夏季休業（GH除く）
20日(水) 所長会議
24日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
28日(木) GH学習会、生活介護学習会
29日(金) 常任理事会



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区福形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円